他にも続々! 飯舘村をフィールドに数多くの 活動が展開されています

「福島飯舘学生サミット」に集結した団体の他にも、紹介しきれない本当にたくさんの大学生が、村内で学び、村民との関わりを深めています。

福島県立医科大学　保健科学部 作業療法学科

県立医大保健科学部作業療法学科の実習が、村内で続いています。「いいたてホーム」では、入居者との交流を含む臨床実習を、前後期合わせて12回行う予定です。

また、7月には、2回の「レクリエーション実習」を「いちばん館」で実施。サポートセンター「つながっぺ」の利用者や各地域の皆さんがこれに協力し、学生との交流を大いに楽しんでいました。

(ホームにて)職員さんと入居者さんの仲のよさを感じます。私も入居者さんとお話できてうれしかったです。

保健科学部2年
中田さくら さん

「いいたてホーム」での臨床実習。入居者と実際に触れ合い個々の状況に応じた関わり方などを学んでいます。

■今年度から、県立医大・保健科学部作業療法学科の実習が、村内で実施されています。村は同大学と2月に包括連携協定を締結。村民の健康福祉に関する取り組みを進めながら、医療人材の育成に協力しています。

福島大学　大黒ゼミ

10月から、「までいな家」で、定期的に「村民食堂」を開催します。村の方がつくる漬物がメインの「一汁一菜膳」の他、学生・留学生の地元の伝統料理や、村外で飲食店を営む村民や移住者をシェフに迎えたランチも企画中です。

さらに、新たな「ワークショップ」も開催予定で、エコバックや凍み餅づくり、エゴマドレッシングの試作、ブレイクダンスやスマホゲームの教室まで、プログラムも多彩です。

私たちが企画しているさまざまなイベントに、ぜひ皆さんでご参加ください。

行政政策学類3年
今 勇人 さん

昨年12月に「までいな家」で開いた村民食堂のひとこま。10月からの定期開催に向け準備を進めています。

■3年にわたり村が発行した自分史集の聞き取りを担当。またNPO法人「もりの駅まごころ協議会」の「みまもり事業」では村民と協働して訪問活動を行いました。村産もち米を「出世」させる六次化イベントも企画・開催しています。

飯舘村にこだわり学びを深める

P9の大阪大学の他にも、飯舘村をフィールドに、実習などを行う大学があります。

例えば福島県立医科大学は、今年度から、保健科学部作業療法学科の実習を「いいたてホーム」や「いちばん館」で行っています。同学科は、福島県の複合災害(地震・原発事故)の経験をこれからの医療現場に活かそうと、震災当時の村の状況も実習の中で学んでいます。

また、県内各地にフィールドを持つ福島大学食農学類の「農学実践型教育プログラム」では、飯舘村フィールドの学生が、地域の課題をくみ取り、村民と関わりながら活動しています。

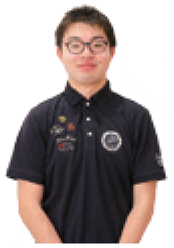
他にも、長期にわたって飯舘村に通い、村民と共に幅広い活動を展開する大学のゼミや研究室が複数あり、多彩な発想でにぎわいを創出しています。イベントなどへの出展やスタッフとしての協力もあり、村民との交流の輪も広がっています。

福島大学食農学類　農学実践型教育プログラム 飯舘村フィールド

飯舘村フィールドでは、地域資源を活用したにぎわいづくりの活動を行っています。12人の学生が3つの班に分かれ、村民の協力を得ながら、SNSでの魅力発信、ジャガイモ「イータテベイク」を使った料理の試作、農地と周辺環境を守る活動などに取り組んでいます。

オープンキャンパスでは、飯舘村を紹介するイベントを開催。ポスター展示やリーフレットの配布などを行いました。

村をPRするイベントでは菜の花を用いた栞を配布。地域の力になれたらうれしいです。



食農学類3年
兼子喜史 さん

前田・八和木地区の未利用農地を活用し景観作物でもある赤ソバを播種。10月には赤い花が見頃を迎えます。

■農学実践型教育プログラムでは、学生が2年次後期から1年半をかけ、地域の食と農に関する課題に取り組みます。フィールドは県内7市町村にあり、メンバーは専門領域4コースを横断して編成。地域に根差した活動で、実践力を磨いています。

明治大学　本所ゼミ

開発に携わってきた「いいたてカレーパン」が村民の手に引き継がれ村内イベントで販売された今年5月、屋外で使える調理器具を携え、応援に駆けつけました。

渡邊とみ子さん(前田・八和木)の畑では「いいたて雪っ娘」かぼちゃの播種やわき芽取りを手伝い、大学の地元で開催するイベントでも雪っ娘の魅力を発信します。

また10月には、人と語らい食を楽しむスタディツアーを村内で開催します。

プラスのイメージに変えていくお手伝いができればとイベントやツアーを企画しています。

農学部3年
野田悠友 さん

菅野宗夫さん(佐須)の農地に建つ「明大ハウス」。最先端のIT技術を用いたハウスで、実習・援農を行っています。

■平成29年、ゼミが拠点を置く神奈川県川崎市などで村の農産物を販売、アンケートを実施しました。翌30年からは「いいたてカレーパン開発プロジェクト」を展開。また、飯舘村を伝えるイベントを開催し、交流を生み出しています。

寄り添い、共に歩む「ふるさとの担い手」

P8の「飯舘福島学生サミット」では、学生の皆さんの議論から、活動の背景にある深い思索や地域への愛着、人々への敬愛などをうかがい知ることができました。探究心と行動力に満ちた姿勢は清々しく、被災地の複雑な状況を理解した上で、村民と共に歩もうとしています。学生の皆さんは、紛れもない『ふるさとの担い手』です。

また、学生の眼差しがとらえた村の姿は、いきいきとエネルギッシュで、村や村民を大いに勇気づけるものでした。それぞれの取り組みにも、これからの村づくりに関わる数々のヒントがありそうです。

村は今後とも、飯舘村を学びのフィールドとする大学との連携を深め、積極的に関わる学生の皆さんの力もお借りしながら、『明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと』づくりを一歩一歩進めていきます。